



地域の方々の、あたたかてゆるやかな見守りが、 「子どもたちが笑顔で暮らせるまち」をつくっています。

ほんの少し見ていてくれるだけで、ほんのひとこと声をかけてくれるだけで、人は安心できたり、心があたたかくなったりします。そんな「ちょっと気にかけてくれる人」が地域にいて、大人も子どもも、心の声を外に出すことができます。地域の方々の日々のあたたかい見守りが、「子どもたちが笑顔で暮らせるまち」につながります。



気になることがある時は、
こちらまで相談ください！

生野区役所

保健福祉課 子育て支援室

☎06-6715-9024 (平日9:00~17:30)

✉ ikuno-kosodate@city.osaka.lg.jp

中央子ども相談センター

☎06-4301-3100 (平日9:00~17:30)

相談先は区HPでも紹介しています。



生野区では、令和2年3月に
「生野区まちぐるみ子育て宣言」を
行いました。

生野区まちぐるみ子育て宣言

生野区では、すべての子どもが笑顔で暮らせるように「みんなで育てるまち」をめざします。

○子どもや親が「助けしてほしい」と気軽に言える相手が、たくさんいるまちにします。

○子どもが健康で安心して暮らし、学びや体験の機会を得られる「子どもの権利が守られるまち」にします。

○生野区のいろんな団体や企業や個人が、知恵と力を集めて「生野で子育てする家庭」を応援します。

○お互いに笑顔であいさつをして「つながりの中で子育てができるまち」をつくっていきます。

みんなで育てる いくのつ子

おおきなあれ



宣言について、くわしくはこちら



問合せ ☎保健福祉課 子育て支援室 2階21番
☎06-6715-9024 FAX06-6715-9967

急に乱暴な言葉が増えた。



どんな小さなことでもいいので、何かほめてあげてください。たとえば「今日の靴がっ可愛いね!」とか。

友達との話をしなくなった。



けんかをしている場合もありますが…。「どうしたの?」と声をかけられる場合は聞いてあげてください。

遅い時間にコンビニやスーパーで見かけることが増えた。



保護者の方がいるか聞いてみてください。確認できない場合や、夜間9時以降に何度も見かける場合は、区役所に相談してください。

おどおどしている。
目をあわせようとしなくなった。



「おはよう」「こんにちは」などのあいさつを重ねることで、自分を気にしている大人がいることを伝えてあげてください。

不自然なケガが増えた。



転んだり、遊んでいるときにできたとは考えにくいようなケガがあるときは、「どうしたの?」と聞いてあげてください。その時の子どもの表情を見ておいてください。

家に帰るのを嫌がる。



子どもの話が聞ける状況であれば、声をかけてあげてください。話して帰宅できても気になるときは、区役所に相談してください。

